光一中だより

教育目標
〇自主的に学び、考え、実行する人
〇心豊かで、ともに助け合う人
〇健康で、勤労を愛する人

練馬区立光が丘第一中学校
校　長　　豊田　貴志
令和５年度　第６号
令和５年１０月３日

「修学旅行に想う」

校　長　豊　田　貴　志

９月12日（火）から、２泊３日で奈良・京都方面への修学旅行に行ってきました。個人的には久しぶりの奈良・京都だったこともあり、新鮮な思いで修学旅行当日を迎えました。しかしそれ以上に、光一中の生徒たちの素晴らしさを感じる３日間でした。

初日、東京駅で生徒たちを待っていると、丸の内線から団体待合所まで光一中の生徒が班ごとに集まってきます。チェックを受け出発式に備え整列しますが、先生方の指示がなくても生徒たちは静かに黙って整列をします。集団生活の中では当たり前のことですが、誰に言われる訳でもないのに「そうするもの」と思って静かに整列する３年生は素晴らしいの一言でした。また先生方の事前の指導を感じる場面でもありました。

宿舎の和順会館では、食事は会場食のため食堂に集合します。行動予定の時間の５分前に私が食堂に着くと、既に全員がそろっており、なおかつ着席していました。これは３日間ずっと変わりませんでした。遅れてはいけないので、私の行動時間を５分早めました。

２日目の夜に高台寺で能の鑑賞をしました。インスタ映えするような絶景の中での演目は「羽衣」。固唾を飲んで鑑賞する生徒、その姿に司会進行の方から素晴らしい鑑賞態度ですねと、お褒めの言葉をいただきました。とびきりの嬉しい瞬間でした。

最終日、東京駅で解散式を行っている時も疲れているはずなのに、しっかりと顔を上げて話を聞く生徒。その姿に思いつく限りの賛辞を送りました。

当たり前のことを当たり前のように行うことは簡単なようでいて、実はとても大変なこと。「凡事徹底」を修学旅行中にたくさん見ることができました。これらの行動は、修学旅行当日だけでいきなりできることではありません。日ごろから学校生活の中でその姿勢が培われてきているからこそ、修学旅行という場面で発揮されたのではないかと思います。この「凡事徹底」は光一中が大切にしていきたい姿勢だと強く思いました。学校生活の中で３年生がその姿を下級生たちに見せていけることを願う修学旅行でした。